

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト

令和4年度（10月期）選抜実施要項

<目 次>

0. プロジェクト支援概要	p. 1
1. プロジェクトの目的・概要	p. 2
2. 支援概要	p. 3
3. 申請要件	p. 4
4. 申請手続き	p. 6
5. 選抜方法	p. 6
6. 選抜結果発表	p. 6
7. 採用者の義務	p. 6
8. 個人情報	p. 7
9. その他	p. 7

金沢大学グローバル人材育成推進機構

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト合同実行委員会

0. プロジェクト支援概要

令和4年度（10月期）の「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト」へ申請が可能な者、申請が可能な事業及び各事業の経済的支援内容は下表のとおりである。

		ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム	大学フェローシップ 創設事業	次世代精鋭人材 創発プロジェクト	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略 プロジェクト 予約採用	申請書類
事業内容		学位プログラム	研究支援・キャリア形成支援		—	
申請 対象 学年 令和4年 10月1日 時点	博士前期・修士課程 1年次相当 (令和4年度10月期 入学者のみ)	○	×	×	○	⇒ ・ Application Form A-1, B-1, C-1 ・ 学士課程成績証明書 (本学卒業者は不要) ・ 各研究科大学院入学選抜試験 における受験票(写)
	博士後期課程 1年次相当 ～3年次相当	×	○	○	×	⇒ [博士後期・博士課程1年次相当] ・ Application Form A-2, B-2, C-2 ・ 学士課程及び博士前期・修士課程 成績証明書 (本学卒業・修了者は不要) ・ 各研究科大学院入学選抜試験 における受験票(写)
	博士課程(4年制) 1年次相当	○ (令和4年度10月期 入学者のみ)	×	○	×	⇒
	博士課程(4年制) 2年次相当 ～4年次相当	×	○	○	×	[博士後期・博士課程 2年次相当以上] ⇒ ・ Application Form A-2, B-2, C-2
支援 内容 概略	奨励金/月	博士前期・修士課程： 50,000円 博士後期・博士課程： 上限150,000円 (毎年審査により決定)	博士後期・博士課程： 175,000円/180,000円 (分野により異なる)	博士後期・博士課程： 180,000円	—	
	研究費/年	博士後期・博士課程： 400,000円 (令和4年度現在)	400,000円/340,000円 (分野により異なる)	400,000円	—	
	RA給与	上限 約360,000円/年 (令和4年度現在)	上限 約60,000円/年 (令和4年度現在)	—	—	
	旅費等支援	独自支援有	独自支援有	独自支援有	—	
	入学科	全額免除				
	授業料	全額免除				
	支援期間 (原則)	博士前期・修士課程2年及び 博士後期課程3年の5年間 又は博士課程(4年制)の 4年間 の標準修業年限内	博士後期課程の 標準修業年限内 又は博士課程(4年制) 在学月数12月以上在籍者 の標準修業年限内	博士後期課程 又は博士課程(4年制) の標準修業年限内	博士前期・修士課程 の標準修業年限内	
採用者の義務 ※ [7. 採用者の義務] に おいて詳細を確認すること		・ 所属する研究科が定める 修了に必要な要件に加え、 本プログラム所定の必修 単位を修得すること ・ 金沢大学が実施する研究力 向上等に関するプログラム 及びキャリア形成支援に 関するプログラムに参加 すること ・ 毎年度、学修及び研究の 進捗状況並びに成果等を 報告すること	・ 金沢大学が実施する研究力向上等に関するプログラム及び キャリア形成支援に関するプログラムに参加すること ・ 毎年度、学修及び研究の進捗状況並びに成果等を報告する こと [外国人留学生] 本学大学院修了後、3年以上、日本の企業、大学、研究所等 (在外の現地法人を含む)又は外資系企業の日本国内の事業所 に研究・開発職での就職を誓約すること	・ 本学大学院博士後期課程への 進学を確約すること ・ 本学大学院各研究科博士後期 課程の入学選抜試験に合格 の後、本プロジェクト選抜 試験を受験すること		

1年次相当：在学月数12月未満， 2年次相当：在学月数12月以上24月未満， 3年次相当：在学月数24月以上36月未満， 4年次相当：在学月数36月以上48月未満

※各事業の支援対象の詳細は、2. 支援概要（1）支援対象となる研究科・課程・専攻及び3. 申請要件を必ず確認すること。

※p.2以降を熟読の上、申請書類を作成すること。

1. プロジェクトの目的・概要

金沢大学は、我が国そして世界のイノベーション創出の芽となる気概あふれる博士研究人材を育成・輩出すべく、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化するとともに、本学学生の博士後期・博士課程への進学を後押ししている。

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト」（以下「本プロジェクト」という）は、次の3事業を博士後期・博士課程学生に対する支援の大きな柱としている。

- ・ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム
- ・大学フェローシップ創設事業
- ・次世代精鋭人材創発プロジェクト

各事業では、経済的支援をはじめ、研究専念環境の充実、学際性の涵養、キャリア形成等に向けた支援を強化し、社会に貢献する人材の育成を目指している。

本プロジェクトに申請し採用された博士後期・博士課程学生には、奨励金の支給、旅費補助等を含めいづれか1の事業から支援を行い研究活動専念環境を整備し、本プロジェクト及び各事業が課す採用者の義務の履行を求めるものとする。

さらに、本学博士後期課程への進学を確約した上で博士前期・修士課程に進学する学生を、本プロジェクトの「予約採用者」として選拔し、博士前期・修士課程在学中の経済的負担が軽減されるよう支援する。

磨き上げる高い専門性と研究基盤力を礎に新たな知の創造に挑む挑戦的かつ学際的な研究に邁進し、社会での飛躍につなげようという意欲ある学生を募集する。

各事業の詳細は以下のとおりである。

【ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム】

本プロジェクトの最上位プログラム。5年一貫型（博士前期・修士課程2年及び博士後期課程3年）又は医学・薬学の4年制博士課程から成る博士学位プログラム。

所属研究科が定める修了に必要な要件に加え、プログラム所定の必修単位を修得した者に、本学学位規程に規定する博士の学位を授与し、学位記に本プログラムの修了を付記する。

[学位記に付記する名称] ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム修了

本学が強みを持つナノサイエンスを基盤とし、ナノレベルでの理解・制御による革新的予防・診断・治療法の創出を担う「技術に強いナノ精密医学プロフェッショナル・医学に強いナノ精密理工学プロフェッショナル」を育成する。

※ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラムは、本選抜実施要項に加え、独自のプログラム要項があるので、必ず確認すること。

【大学フェローシップ創設事業】

将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の鍵となり得る研究分野の重要な担い手となる博士研究人材を重点的に支援するプロジェクト。融合サイエンス分野、情報・AI分野、マテリアル分野の3つの研究分野の研究意欲の高い優秀な博士後期・博士課程学生に対し、経済的支援及び研究力強化、多様なキャリアパス形成に資する支援を提供する。

【次世代精鋭人材創発プロジェクト】

博士後期・博士課程における実践的かつ分野融合的・横断的な研究を志向する、イノベーションマインドの火を燃やし続ける真に優秀な博士研究人材に対し、経済的支援及び研究力強化、多様なキャリアパス形成に資する支援を提供するプロジェクト。

【博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用】

学士課程在学中から、博士学位取得後の活躍を希望する者であって、本学大学院博士後期課程への進学を確約した上で博士前期・修士課程に進学する学生を、「予約採用者」として選拔し、博士前期・修士課程在学中の入学料・授業料を免除するとともに、研究の世界へ誘う多様な企画へ参加できる制度。

博士後期課程において本プロジェクトから支援を受けるため、予約採用者は本学大学院博士後期課程の入学者選抜試験合格の後、プロジェクトの本採用選抜試験に合格する必要がある。予約採用者のうち博士前期課程在学者は、原則、修士論文ではなく、2年次9月（予定）に実施される博士論文研究基礎力審査（QE）により博士前期課程を修了するものとする。なお、QE と博士後期課程入学者選抜試験は兼ねて実施する予定である。

2. 支援概要

(1) 支援対象となる研究科・課程・専攻

プロジェクト名		研究科名	課程名	専攻名
ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム		大学院自然科学研究科	博士前期・後期課程	全専攻
		大学院医薬保健学総合研究科	博士課程	医学専攻 薬学専攻
			修士課程（博士後期課程へ進学する者）	医科学専攻
			博士前期・後期課程	創薬科学専攻 保健学専攻
		大学院先進予防医学研究科	博士課程	先進予防医学共同専攻
		大学院新学術創成研究科	博士前期・後期課程	全専攻
大学フェロースシップ創設事業	融合サイエンス・トップ研究者育成フェロースシップ	大学院新学術創成研究科	博士後期課程	全専攻
	情報科学と医工融合による「異分野横断型」研究者育成フェロースシップ	大学院自然科学研究科	博士後期課程	電子情報科学専攻 機械科学専攻
		大学院医薬保健学総合研究科	博士課程	医学専攻 薬学専攻
		大学院医薬保健学総合研究科	博士後期課程	創薬科学専攻 保健学専攻
		大学院先進予防医学研究科	博士課程	先進予防医学共同専攻
	マテリアル革新力を備えオープンイノベーション時代を牽引する人材育成フェロースシップ	大学院自然科学研究科	博士後期課程	全専攻
次世代精鋭人材創発プロジェクト		全研究科	博士後期課程・博士課程	全専攻
博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用		全研究科	博士前期課程・修士課程	全専攻

(2) 経済的支援の内容

各事業が提供する経済的支援は下表のとおり。

	ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム	大学フェローシップ創設事業			次世代精鋭人材 創発プロジェクト	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略 プロジェクト 予約採用
		融合サイエンス・ トップ 研究者育成 フェローシップ	情報科学と医工融合による 「異分野横断型」 研究者育成 フェローシップ	マテリアル革新力を備え オープンイノベーション 時代を牽引する 人材育成フェローシップ		
奨励金／月	博士前期・修士課程： 50,000円 博士後期・博士課程： 上限150,000円 （毎年審査により決定）	博士後期課程： 175,000円	博士後期・博士課程： 180,000円	博士後期課程： 175,000円	博士後期・博士課程： 180,000円	—
研究費／年	博士後期・博士課程： 400,000円 （令和4年度現在）	400,000円	340,000円	400,000円	400,000円	—
RA給与	上限 約360,000円/年 （令和4年度現在）	上限 約60,000円/年 （令和4年度現在）			—	—
旅費等支援	独自支援有	独自支援有			独自支援有	—
入学科	全額免除					
授業料	全額免除					
支援期間 （原則）	博士前期・修士課程2年及び 博士後期課程3年の5年間 又は博士課程（4年制）の 4年間の 標準修業年限内	博士後期課程の 標準修業年限内	博士後期課程の 標準修業年限内 又は博士課程（4年制） 在学月数12月以上在籍者 の標準修業年限内	博士後期課程の 標準修業年限内	博士後期課程 又は博士課程（4年制） の標準修業年限内	博士前期・修士課程 の標準修業年限内

なお、経済的支援は、本プロジェクト採用者及び予約採用者に対する特例であり、ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラムの履修を博士後期・博士課程修了の前に取り止め又は中断した場合若しくは本プロジェクト又は予約採用を辞退等した場合、その他の場合に、支援を停止し、奨励金、入学科及び授業料免除額並びに未執行の研究費の返還を求めることがある。

また、予算の状況により、経済的支援の内容を変更する場合がある。

採用決定後、奨励金支給開始日までに渡日できない場合、未渡日の期間に相当する奨励金は支給しない。また、研究費は渡日後に使用開始となる。

3. 申請要件

(1) 募集人員

募集人員は下表に規定するとおりである。

申請者は、(2)に規定する申請資格を確認のうえ、申請時に希望する事業を選択すること。なお、研究計画の内容によっては希望が叶わないことがあるので留意すること。

ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム	大学フェローシップ創設事業			次世代精鋭人材 創発プロジェクト	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略 プロジェクト 予約採用
	融合サイエンス・ トップ 研究者育成 フェローシップ	情報科学と医工融合による 「異分野横断型」 研究者育成 フェローシップ	マテリアル革新力を備え オープンイノベーション 時代を牽引する 人材育成フェローシップ		
若干名	13名 (内訳) 令和4年度新規採択分9名 (※1) 令和3年度欠員採択分4名 (※2)	7名 (内訳) 令和4年度新規採択分6名 (※1) 令和3年度欠員採択分1名 (※2)	18名 (内訳) 令和4年度新規採択分9名 (※1) 令和3年度欠員採択分9名 (※2)	20名程度	5～10名程度

※1 対象は博士後期課程1年次相当（在学月数12月未満）又は博士課程2年次相当（在学月数12月以上24月未満）

※2 博士後期課程又は博士課程在籍であって学年を限定しない。ただし、フェローシップ給付期間は最大1年6か月に限る。

(2) 申請資格

本プロジェクトの趣旨を理解し、博士学位取得に向けた研究への高い意欲とあくなき探求心を有するとともに、博士学位取得後は高度な専門性をもってより良い未来社会創造に貢献したいという気概ある者であって、以下に示す要件を全て満たすこと。

なお、ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラムにあっては5年一貫型（又は4年制）博士学位プログラムであること、博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用にあっては博士学位取得後の活躍を希望する者を後押しする制度であることに鑑み、博士前期課程及び修士課程進学者にあっては博士後期課程へ進学する意思のない者は申請資格を有さない。

①令和4年10月1日時点で下表に規定する研究科・課程・専攻・年次に在籍する者

			ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム	大学フェローシップ創設事業			次世代精鋭人材 創発プロジェクト	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略 プロジェクト 予約採用
				融合サイエンス・ トップ 研究者育成 フェローシップ	情報科学と医工融合 による「異分野横断型」 研究者育成 フェローシップ	マテリアル革新力を備え オープンイノベーション 時代を牽引する 人材育成フェローシップ		
人間社会環境 研究科	博士前期課程	全専攻	—	—	—	—	—	○ M1 ※1
	博士後期課程	人間社会環境学専攻	—	—	—	—	○	—
法学研究科	修士課程	法学・政治学専攻	—	—	—	—	—	○ M1 ※1
自然科学 研究科	博士前期課程	全専攻	○ M1 ※1	—	—	—	—	○ M1 ※1
	博士後期課程	数物科学専攻	—	—	—	○ ※2	○	—
		物質化学専攻			—			
		機械科学専攻			○ ※2			
		電子情報科学専攻			○ ※2			
		環境デザイン学専攻			—			
		自然システム学専攻			—			
医薬保健学 総合研究科	修士課程	医科学専攻	○ M1 ※1	—	—	—	—	○ M1 ※1
	博士課程	医学専攻	○ MD1 ※1	—	○ MD2以上 ※2	—	○	—
		薬学専攻						
	博士前期課程	創薬科学専攻	○ M1 ※1	—	—	—	—	○ M1 ※1
	博士後期課程	保健学専攻	—	—	○ ※2	—	○	—
		創薬科学専攻						
		保健学専攻						
先進予防医学 研究科	博士課程	先進予防医学共同専攻	○ MD1 ※1	—	○ MD2以上 ※2	—	○	—
新学術創成 研究科	博士前期課程	全専攻	○ M1 ※1	—	—	—	—	○ M1 ※1
	博士後期課程	全専攻	—	○ ※2	—	—	○	—

※1 令和4年度10月期入学者のみ

※2 3. 申請要件 (1) 募集人員に規定する採択枠ごとの条件を確認すること。

②7. 採用者の義務に規定する事項の遵守を確約できること。

③主任指導（予定）教員の承諾を得ること。

④日本学術振興会特別研究員 DC1 及び DC2 の申請資格を満たす場合、少なくとも一度必ず申請すること。なお、一度不採用となった者は、可能な限り、翌年度 DC2 へ応募すること。

⑤大学フェローシップ創設事業、次世代精鋭人材創発プロジェクト及び博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用においては、博士学位取得後、我が国の科学技術・イノベーションの創造に携わる意志を有すること。外国人留学生の場合は、本学大学院修了後、3 年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に研究・開発職で就職することを誓約する者。

※ 修了時にこの要件を満たさないことが判明した場合、原則、採用以降に支給された奨励金並びに入学金及び授業料免除額の返還を課す。

⑥上記に関わらず、以下のいずれかに該当する者は申請資格を満たさない。

(a) 重複受給等の制限

次に掲げる経済的支援等を受けている者は、本プロジェクトによる支援を受給することはできない。なお、ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラムと大学フェローシップ創設事業、次世代精鋭人材創発プロジェクトとでは申請資格を満たさない要件が異なることから留意すること。

ただし、申請時に重複受給等の制限に該当する奨学金等の収入がある場合でも、当該奨学金等の受給を辞退することにより、令和4年10月1日の時点において申請要件を満たすことが可能な場合には、本プロジェクトに申請することを認める。

また、別に受給あるいは受給予定の他の経済的支援が奨学金であって、かつ当該奨学金側で併給を認めていない場合には、その奨学金のルールに従う必要があることから、本事業での支援が決定した際には、その奨学金を辞退する等の適切な手続きを行うこと。

【ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム】

以下のいずれかに該当する者は、博士後期・博士課程の奨励金を受給することができない。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として研究奨励金を受給している者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- ・独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受ける者
- ・独立行政法人日本学生支援機構の学習奨励費を受ける留学生
- ・母国の奨学金等による支援を受ける留学生
- ・金沢大学独自の奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者
- ・アルバイトを行うこと（TA、RA 等の一部例外を除く）

【大学フェローシップ創設事業・次世代精鋭人材創発プロジェクト】

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として研究奨励金を受給している者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- ・母国の奨学金等による支援を受ける留学生
- ・金沢大学独自の奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者
- ・以下に該当する社会人学生
 - ・所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240 万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者
 - ・所属企業等から十分な生活費相当額（240 万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者

(b) 申請時点において、現に大学フェローシップ創設事業又は次世代精鋭人材創発プロジェクトの選抜学生である者

(c) 休学中又は令和4年10月から休学予定である者

4. 申請手続き

(1) 申請方法

- ・全ての申請書類を一つのファイル (PDF) にし、ファイル名を自身の氏名 (フルネーム) とした上、電子メールに添付し申請すること。
- ・メールのタイトルを「博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト申請書類」とすること。

(2) 申請書類

- ・申請書 (Application Form A)
- ・同意書 (Application Form B)
- ・研究計画調書 (Application Form C)
- ・成績証明書 (学士課程及び博士前期・修士課程)
※令和4年10月1日進学／入学予定者のみ (本学卒業・修了者は不要)
- ・各研究科大学院入学者選抜試験における受験票 (写)
※令和4年10月1日進学／入学予定者のみ

(3) 申請期間

令和4年7月29日 (金) ～令和4年8月18日 (木)
※最終日の17時までに到達したもののみ受け付ける。

(4) 提出先

学務部学務課

E-mail : jisedai[at]adm.kanazawa-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。

5. 選抜方法

書面審査及び面接審査を実施する。

なお、書面審査において、令和4年10月1日入学者にあっては、各研究科が実施する博士後期・博士課程又は博士前期・修士課程の大学院入学者選抜試験の成績を確認する。

書面審査及び面接審査の結果を総合的に判断し、可否を決定する。

・一次選抜 (書面審査)

申請書類に基づく研究計画・内容・実績等の評価及び大学院入学者選抜試験の成績により、学力及び本プロジェクトに参加する意欲を審査する。

一次選抜の結果は、令和4年8月末日までに申請書類に記載の E-mail 宛てに通知する。

・二次選抜 (面接審査)

一次選抜合格者を対象に、研究計画の内容等に係るプレゼンテーション、質疑応答を含む面接審査を行う。

※ なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web コミュニケーションツールを用いて面接審査を行う場合がある。詳細は、対象者宛てに通知する。

6. 選抜結果発表

選抜の結果は、令和4年9月末日までに申請書類に記載の E-mail 宛てに通知する。

7. 採用者の義務

- (1) 本プロジェクトの理念を理解するとともに、公費により支援を受けることを十分に自覚したうえ、学業及び研究に専念すること。
- (2) 金沢大学が実施する研究力向上等に関するプログラム及びキャリア形成支援に関するプログラムに参加すること。
- (3) ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラムに選抜された学生にあっては、所属する研究科が定める修了に必要な要件に加え、プログラム所定の必修単位を修得すること。
- (4) 毎年度、学修及び研究の進捗状況並びに成果等について、所定の様式により報告すること。
- (5) 博士研究人材支援の実施に際し、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) や金沢大学等が実施する各種調査、アンケート、フォローアップに協力すること。

- (6) 採用された事業により得た研究成果を発表する場合は、当該事業により助成を受けた旨を明記すること。
- (7) 奨励金及び RA 給与に関する税法上の手続き等を実施すること。奨励金は、税法上「雑所得」として扱われ課税対象となることから、確定申告が必要となる。また、奨励金及び RA 給与の受給により、親又は親族等の被扶養者となっている場合の健康保険や扶養手当等における扶養扱いが変わる可能性がある。そのため、各自で税務署又は扶養者若しくは扶養者の勤務先担当者等へ確認し、必要な手続きを行うこと。
- (8) その他、採用された事業が定める各種事項を遵守すること。

8. 個人情報

- ・申請書類に記載の氏名、住所、その他の個人情報は、「書面審査」、「面接審査」、「選抜結果発表」などの業務及び本プロジェクトに関する業務を遂行するために利用する。
- ・選抜に用いた試験成績などの個人情報は、選抜結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために利用する。
- ・本プロジェクトの選抜に当たり、研究科における大学院入学者選抜試験の資料を利用する。
- ・採用者の氏名・所属等は Web サイト及び各種報告書等の印刷物で公表する場合がある。
- ・本プロジェクト活動の記録として、講義、イベント等の写真を報告書等の印刷物及び Web サイトで公表する場合がある。

9. その他

(1) 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除申請

本プロジェクトに申請する者は、本プロジェクトの採用が決まった場合に入学料及び授業料が全額免除されることから、以下のとおり手続きをすること。

- ・入学料（令和 4 年 10 月 1 日入学予定者（学内進学者を除く）対象）
必ず入学料徴収猶予（又は入学料免除）の手続きを執り、選抜結果の判明まで入学料を納入しないこと。なお、入学料免除を申請した者は、本プロジェクトへの採用を以て必ず取消申請をすること。
- ・授業料（令和 4 年 10 月 1 日入学予定者及び在学者対象）
授業料免除の申請を行うことは妨げない。なお、申請した者は、本プロジェクトへの採用を以て必ず取消申請をすること。

【申請方法】

以下の Web サイトを確認し、本人調書（様式 1-1, 1-2）を提出すること。

提出に当たっては、様式上部に「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト申請中」と記載すること。

[入学料免除・入学料徴収猶予 Web サイト]

https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/exemption_grace

[授業料免除 Web サイト]

https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/tuition_waiver/tuition_waiver-2

(2) 問合せ先

金沢大学学務部学務課

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学 本部棟 2 階

E-mail : jisedai[at]adm.kanazawa-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。

Web サイト : <https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/f-ship>

(3) その他

- ・申請書類の返却は行わない。また不備のある申請書類は受け付けない。
- ・提出書類の内容に虚偽が判明した場合は、選抜後でも採用を取り消す場合がある。この場合、支給済みの経済的支援の全額返済を課す。
- ・申請者への連絡は申請書類に記載の E-mail アドレスに行う。そのため、E-mail アドレスは、大学からのメール（kanazawa-u.ac.jp）を確実に受信できるアドレスとすること。添付ファイルを送信する場合があるため、携帯のアドレスは認めない。

ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム要項

「卓越大学院プログラム」は、新たな知の創造と活用を主導し、次代を牽引する価値を創造するとともに、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材（高度な「知のプロフェッショナル」）を育成するという事業の目的に照らし、本プログラムが求める学生像に掲げる意欲と適性を持った人材を選抜し、育成します。

1. 本プログラムの概要

2015 年にアメリカから"Precision Medicine"が提案され、世界的に注目されています。これは、最先端技術を用いた遺伝子解析により、患者個人レベルでの最適な治療を目指すもので、「精密医学」と和訳されています。しかし、遺伝子解析のみでは不十分であり、未だ多くの疾患が克服されていません。金沢大学は、ナノプローブ顕微鏡という強みを活かし、「ナノを制御する装置・材料の開発による革新的予防・診断・治療法を創出」するための教育と研究を分野横断的かつ体系的に実践する拠点を先駆けて形成し、疾患の普遍的な原因解明を目指すとともに、個別化医療にも応用する「ナノ精密医学・ナノ精密理工学」という新たな知の創造と活用を主導し、社会にイノベーションをもたらす人材を世界に輩出します。

そこで本プログラムは、人類社会の課題である「がん、生活習慣病、脳神経病、微小粒子に起因する疾患、ナノ材料に起因する疾患」の 5 つにターゲットを絞り、ナノレベルでの理解・制御による革新的予防・診断・治療法の創出を担う「技術に強いナノ精密医学プロフェッショナル・医学に強いナノ精密理工学プロフェッショナル」を育成します。

2. 養成する人材像

本プログラムでは、ナノ計測に関する「高度な専門性」を有し、様々な生命現象をナノレベルで捉える「俯瞰力」とナノ精密医学・理工学における新たなイノベーションを創出する「独創力」を備え、更に、その成果を社会へと展開する「社会実装力」を備えた卓越した博士人材「知のプロフェッショナル」を養成します。具体的には、以下の能力を有する人材の育成を目指します。

- ① 医薬保健学、理工学といった既存の枠を超え活躍する医学と理工学のマルチディシプリンの人材
- ② 「予防・診断・治療」の各段階において現場を熟知しているスペシャリスト
- ③ 多様なバックグラウンドを持つグループの中心で Hub 的役割を担う知のプロフェッショナル

以上の 3 つの資質を兼ね備えた

- ・「技術に強いナノ精密医学プロフェッショナル」
- ・「医学に強いナノ精密理工学プロフェッショナル」

を育成します。

[求める学生像]

本プログラムでは、大学院自然科学研究科、大学院医薬保健学総合研究科、大学院先進予防医学研究科、大学院新学術創成研究科の 4 研究科に入学する学生の中から広く募集し、以下のような意欲と適性をもつ学生を選抜します。

◆ ナノサイエンス、ナノテクノロジーに強い関心と学修意欲を持ち、理学、工学、医学、医科学、

薬学、創薬科学、保健学又は学術に関連する分野の基礎学力を備えた人材

- ◆幅広い視野と創造性、豊かな人間性・社会性、高度な倫理観を備えて、健康課題解決への意欲を持つ人材
- ◆最新の知見・技術の動向に関心を持ち、イノベーションや新ビジネスによって社会を変えたい、社会に貢献したいという意欲を持つ人材
- ◆国や地域、社会や制度等、個別の専門分野といった既存の枠組にとわられず、異文化や他者に寛容な姿勢と優れたコミュニケーション能力を有し、専門が異なる分野にも多角的・論理的思考力を持って異分野交流活動に取り組むことができる人材

3. 修了要件

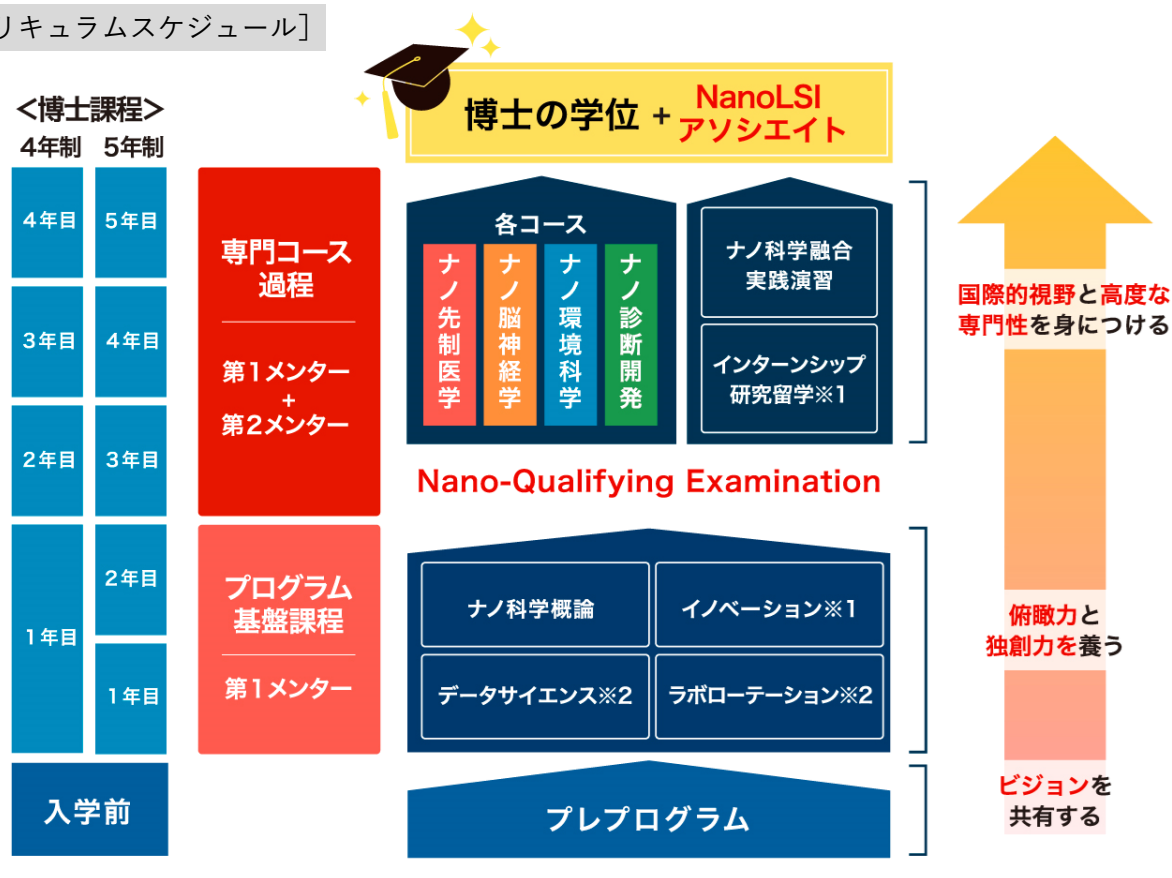
本プログラムのカリキュラムは、ナノ科学における俯瞰力と独創力を養う「プログラム基盤課程」と国際的視野と高度な専門性を養う「専門コース課程」から構成します。

プログラム履修者は所属する研究科が定める修了に必要な要件に加え、「プログラム基盤課程」と「専門コース課程」の必修科目の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験の合格が必要です。

プログラムを修了した者に、本学学位規程に規定する博士の学位を授与し、それぞれの学位記に本プログラムの修了を付記します。

- ◆学位記に付記する名称：ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム修了

[カリキュラムスケジュール]



入学者選抜

先進予防医学研究科

医薬保健学総合研究科

自然科学研究科

新学術創成研究科

※1 大学院GS基盤科目及び大学院GS発展科目(全学生対象) ※2 博士前期・修士課程学生は、大学院GS基盤科目

[本プログラム必修科目] (令和4年度以降入学者)

【5年一貫型】

(博士前期・修士課程)

区分	授業科目	単位数
プログラム 基盤課程	ナノ精密医学・理工学概説	1単位
	ナノ科学概論	2単位

(博士後期課程)

区分	授業科目	単位数
専門コース 課程	ナノ科学融合実践演習	1単位
	各専門コース必修科目	2単位

【4年制博士課程】

区分	授業科目	単位数
プログラム 基盤課程	ナノ精密医学・理工学概説	1単位
	ナノ科学概論	2単位
	数理・データサイエンス概論	1単位
	ラボローテーション実践演習	1単位
専門コース 課程	ナノ科学融合実践演習	1単位
	各専門コース必修科目	2単位

・上記に加え、選択科目を履修し、さらに学修を深めることができます。

本プログラムでは、「プログラム基盤課程」から「専門コース課程」に進むため、また、博士前期課程学生は博士後期課程に進学するために、Nano-Qualifying Examinationを受験し、合格することが必要です。Nano-Qualifying Examinationは、本プログラムが課す筆記試験及び各研究科が実施する博士論文研究基礎力審査(QE)から構成します。

【事前講義(プレプログラム)】

本プログラムに選抜された学生を対象に、事前講義としてプレプログラムを実施します。令和5年2月から3月頃に2日間程度の日程で実施しますので、必ず参加してください。

4. 経済的支援

本プログラムでは、卓越大学院プログラムの趣旨を踏まえ、本学が別に定める諸事項を誓約した履修者に対し教育研究に専念する環境整備として次のとおり充実した経済的支援を行います。

(1) 入学料及び授業料の全額免除

本プログラムの履修者全員の入学料及び授業料の全額を免除します。

なお、授業料免除は、大学院学則に規定する標準修業年限内に限ります。

(2) 給付型奨励金の支給

本プログラム履修者で成績優秀な学生に対し、標準修業年限内に限り、奨励金を支給します。

[博士前期・修士課程]: 月額5万円, [博士後期・博士課程]: 月額上限15万円

支給額を含め、奨励金の支給は、「金沢大学卓越大学院プログラム教育研究支援奨励金細則」に基づき、毎年、審査により決定します。

(3) 研究費の支給

博士後期・博士課程の学生に、研究費を支給します。

(4) RA（リサーチアシスタント）給与の支給

プログラム担当者の研究プロジェクト等の研究補助者として雇用する者に RA 給与を支給します。

(5) 研究旅費等の支援

インターンシップや海外研究留学のため又は国際学会で研究成果を発表するための旅費について、一定の範囲内で支給します。

※ (2)、(3)、(4) 及び (5) は予算の状況により変更する場合があります。

5. プログラム担当者

77 名（令和 4 年 7 月現在）

金沢大学トップ>教育>特色ある取り組み>卓越大学院プログラム

Web サイト：<https://nano-wise.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

6. 連絡先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学学務部卓越大学院推進室（角間キャンパス本部棟 2 階 学務部学務課内）

Tel：076-264-5959

E-mail：wise-ku[at]adm.kanazawa-u.ac.jp

※[at]を@に置き換えてください。